

【方針3】 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

〔施策の柱1〕 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

本年度も、人生100年時代を豊かに過ごすために、生涯を通じた学びの場、市民が主体的に行動する学びの場を整備していきます。

近年、少子高齢化や人口減少等により社会の構造変化が起きる中、地域社会の課題も多様化していることから、市民が地域に関心を持つきっかけとなる機会の創出を目指して、地域に関する学習や地域の人材と協働した講座を行っていきます。

生涯を通じた学びの場の充実を実現する取組として、趣味を通じた新しい仲間との出会いや、教養を深める場所を提供することなどを目的に、様々な実施主体による多様な分野のまちづくりセンター講座を実施するとともに、豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶ機会を提供するため、富士市民大学を開催します。

また、家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員等の地域人材のネットワーク化を進める取組を継続します。

「放課後子ども教室×少年教育講座²⁸」等を引き続き実施していくとともに、更なる少年教育の充実を図るために、新たに小学校1年生から3年生までを対象とした少年教育講座を実施します。

さらに、地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動²⁹の在り方について検討を進めます。

このほか、青少年の体験格差を是正するため、様々な体験事業を企画・実施し、地域社会や民間事業者など多様な団体と連携しながら、青少年の体験活動や交流の場を提供するとともに、青少年団体の活動を支援していきます。

青少年体験交流事業については、引き続き「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市を中心に実施します。「無限∞のキズナ」では、『キズナ学習』などの「仲間づくりプログラム」として、「最高のチームを作ろう」の目標達成に向けて、仲間と困難を共に乗り越えることを体験し、コミュニケーション力や課題解決力を身に付けるとともに、自ら物事を体験することの大切さを体感することで、何事にも積極的に取り組む青少年を育成することを目指していきます。

また、「地域交流プログラム」、「自然体験プログラム」では、長野県ならではの自然、郷土体験活動を通し、地元の方々の地域を盛り上げようとする熱い想いに触れることで、自分の生まれ育った故郷への郷土愛を育むきっかけづくりとなるように、現地の方々と協働で事業を構築していきます。

このほか、青少年健全育成事業等にリーダーとして参画できる人材を育成することを目的に、青少年育成ボランティア養成講座を実施します。

そして、20歳を迎える方々を対象に、「富士市はたちの記念式典」を人生の節目を祝う機会として引き続き実施します。また、18歳の新成人に対しては、祝意メッセージとともに富士のほうじ茶一煎パックを送り、成人の門出を祝います。

また、青少年の健全育成に向け、非行防止のための補導活動を行うなど、青少年を取り巻く環境をよりよいものにしていきます。

²⁸ 放課後の子どもの居場所づくりと体験学習を目的として、小学生を対象にまちづくりセンター等を会場に実施する講座

²⁹ 地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

各施策の重点事業（☆新規事業）

【施策①】生涯を通じた学びの場の充実

- ・各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象に多様な分野の講座を開催する。
- ・自ら学んだことを還元する意欲のある市民を応援し、民間団体の活性化を図るとともに、市民のニーズに応える魅力的な講座を提供するため、市民や民間団体が主体となって開催する「市民プロデュース講座³⁰」や「オープン自主グループ講座³¹」、「みんカル講座³²」を実施する。
- ・豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、各専門分野に精通している教授や著名な講師等を招き、富士市民大学³³を開催する。

【指標に関する取組】

新しい趣味や仲間づくりを目的としたまちづくりセンター講座の実施

【指標】 講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合

【R7実績/ R8目標】 93.6%/ 100%

【施策②】地域ぐるみの社会教育の推進

- ・まちづくりセンター講座等において、地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的とした「人づくり講座」を継続して実施する。
 - ・「放課後子ども教室×少年教育講座」を引き続き実施する。
- ☆地域の未来を担う人材育成のための少年教育講座について、新たにを小学校1年生から3年生までを対象とした講座を実施する。
- ・家庭教育力の向上を目指し、家庭教育支援員³⁴など、地域で活躍する人材のネットワーク化を進めるため、家庭教育支援員等への学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行う。
 - ・小中学校入学前の保護者を対象とした子育て講演会を継続して実施するとともに、未就園児とその保護者を対象とした家庭教育講座を実施する。
 - ・地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、学校と地域の連携・協働に向けた取組を支援するとともに、地域学校協働活動の在り方についての検討を行う。

【指標に関する取組】

人づくり講座の実施

【指標】 講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合

【R7実績/ R8目標】 91.0%/ 100%

³⁰ 市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座。市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。

³¹ 同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座。

³² 趣味教養・仲間づくりを目的とする講座のうち、市内で活動している民間団体が企画・運営する講座。民間団体が得意とする分野の講座を、まちづくりセンターで展開し、地域に根付いた魅力的な講座を目指す。

³³ 前期ミニカレッジは各専門分野の教授や有識者等と連携して開催、後期講演会は各分野で活躍する著名な講師による講演会を開催している。

³⁴ 静岡県家庭教育支援員養成研修で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ人。行政や学校と協力して、保護者会、懇談会、家庭教育講座等の保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う会等の進行や、情報提供を行うなど、保護者の学びの支援を行う。

【施策③】 新たな時代を生き抜く次世代の育成

- 青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」を、長野県伊那市などを舞台に実施し、次世代リーダーの育成等を行う。
- 岩手県雫石町との少年交流事業を雫石町で実施し、地元の特色を学習しながら相互交流と集団生活を通じて、他人への思いやりの心を養う。
- 青年の主体的な社会参加を促すため、青年教養講座を実施するとともに、受講生同士の交流の場を企画し、仲間づくりと社会貢献活動に参加するきっかけを提供する。
- 青少年の非行防止のため、声掛けをはじめとする補導活動や環境浄化活動を推進する。

【指標に関する取組】

青少年体験交流事業の実施

【指標】 青少年体験交流事業参加者の満足度（雫石市少年交流事業、青少年体験交流事業の満足度）

【R7実績/ R8目標】 100%/ 100%

その他の事業

- 市政いきいき講座
- 青少年育成団体への活動支援
- 「富士市はたちの記念式典」の実施
- 青少年育成ボランティア養成講座の実施
- はぐくむF U J I 出会い応援事業「ふじさん×ナチュラブ」の実施



まちづくりセンター講座
「中部教養講座～寿よしわら塾～」



放課後子ども教室×少年教育講座
「お茶と草笛の世界へ」



無限∞のキズナ
「食文化体験」



富士市・雫石町少年交流事業
「宝永火口トレッキング」

〔施策の柱 2〕 市民の学びの場である図書館の充実

図書館は、生涯にわたる学びと読書習慣を支える拠点として、市民のニーズに応じた多種多様な資料を提供します。ICT を活用した多様な読書形態を提供することで、誰もが読書に親しめる環境の充実を図っていきます。

乳幼児期から本に親しみ、読書を楽しむ経験は、生涯の読書習慣につながることから、継続的な保護者への働きかけにより、子どもと保護者が絵本に触れる機会を充実させます。

また、「市民の居場所」として利用しやすい施設とするため、環境整備を進めるとともに、託児サービスを継続し、子育て中の保護者の読書活動を支援します。

読書や本に関する講演会・講座の開催により市民の学びの機会を提供するとともに、市制 60 周年に合わせた企画展を開催して郷土への関心を深める場を設けます。

本・人・地域をつなぐ人材育成の取組として、ボランティアを対象にした講習会や情報提供を行い、活動の充実を図ります。

令和 4 年に策定した「第三次富士市子ども読書活動推進計画」が計画期間の中間年に当たることから、令和 7 年度に実施したアンケート結果を踏まえて進捗状況を検証するとともに、必要に応じて施策の見直しを行います。

急速なデジタル化の進展や少子高齢化などの社会情勢の変化、施設の老朽化などの新たな課題に対応するため、これからの図書館のあり方について検討を進めます。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p>【施策①】生涯にわたる読書習慣の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な資料を収集・整理・保存し、提供するとともに、調査研究や学習を支援する。また、音訳・点訳資料や大活字本、オーディオブック³⁵などの充実を図る。 ・「ふじ電子図書館」の利用については、市内小中学校等の GIGA タブレット端末による活用を引き続き促進するとともに、一般利用者の利用拡大に向けてコンテンツの充実を図る。 ・読み聞かせの重要性を保護者に伝えるため、「プレママ・プレパパ読み聞かせ講座」「ブックスタートふじ」「セカンドブックふじ」を実施する。 <p>☆子どもが絵本に親しむ機会を広げるため、移動図書館が巡回した際におはなし会を実施する。また、保育幼稚園課と連携したおはなし会を開催し、参加した保護者が保育相談もできる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい図書館デーの実施や中高生向け学習室の開放を行い、誰もが利用しやすい環境を整える。 <p>☆西図書館に公衆無線 LAN を整備する。</p>
<p>【指標に関する取組】</p> <p style="text-align: center;"><u>市民の読書活動の推進</u></p> <p>【指標】一人当たりの図書貸出数</p> <p>【R7 実績/ R8 目標】6.6 点/ 8.2 点</p>

³⁵ ナレーター、声優等が本を朗読する、耳で聴いて楽しむ読書。パソコンやスマートフォンで図書館のウェブサイトアクセスし利用できる。

【施策②】本・人・地域をつなぐ人材育成

- ・郷土資料の研究や読書会などを行う読書関連団体に対し、資料や会場の提供を通して生涯学習を支援する。
- ・ボランティアの学びや活動を支えるため、読み聞かせや点訳・音訳に関する講座や勉強会を開催する。
- ・「本はともだち子どもまつり」「図書館まつり」等のイベントでボランティアの協力を得るとともに、活動を紹介し、市民への理解と周知を図り、新たな人材の発掘と担い手の養成に努める。

【指標に関する取組】

ボランティア養成講座の開催

【指標】 ボランティア養成講座の参加者数（累計）

【R7実績/ R8目標】 1,750人/ 1,800人

その他の事業

- ・高齢者施設や幼稚園などへの団体配本の実施
- ・一般文学講演会、ビジネス支援講演会、古文書講座など生涯学習を促進する講座の開催
- ・「本はともだち子どもまつり」「ビブリオバトル」など利用推進のためのイベントの開催
- ・市制60周年を記念した企画展の開催
- ・「富士市立図書館協議会」「富士市子ども読書活動推進協議会」の開催



ビジネス支援講演会
「広報・集客に活かす SNS 活用の基本と考え方」



読み聞かせボランティア・デビュー講座

〔施策の柱3〕 ころ豊かな市民文化の創造

文化財については、将来にわたり地域社会全体で適切に保存し、活用していくため、「富士市文化財保存活用地域計画」を周知し、計画の理念を地域住民と共有することで、文化財を未来に確実に継承する意識の醸成を図っていきます。

また、令和7年度に策定した「国指定史跡浅間古墳保存活用計画」に則り、5か年計画での発掘調査に着手し、史跡として保護すべき範囲を明確にするとともに、古墳の遺存状況を把握し、保護の方策を検討する資料を取得していきます。なお、国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」については、令和9年度の移築復原工事に向けて、解体調査及び解体工事を行います。

整備が完了した市指定史跡「千人塚古墳」については、(一社)須津地区まちづくり協議会の協力を得て、地域とともに適切な維持管理・活用を図っていきます。

その他、「しずおか遺産」に認定されたストーリー「駿河湾のめぐみと行き交う船」を構成する歴史・文化財の啓発事業や、源頼朝や曾我兄弟の歴史・伝承にちなんだ史跡活用イベントの継続的な実施、AR³⁶を活用した文化財の紹介事業や市民歴史講座等を開催します。さらに、重要文化財「古谿荘」については、引き続き国・県とともに建物修理に係る助成を行います。

博物館業務については、本市及び本市近隣市町の歴史・文化に係る調査研究を行い、企画展や展示会、体験講座等を開催するほか、小中学校等への見学対応や出張授業、まちづくりセンターや地域包括支援センター等への出前講座を実施します。なかでも、小中学校の教室と博物館の展示室をつなぐオンライン授業に力を入れ、人生の早い時期に博物館を知る機会を提供し、豊かな心を育みます。

また、本年度は、市制60周年に当たるとともに、本館のリニューアルオープン10周年の記念の年でもあることから、館名にもある「富士山」と「かぐや姫」をテーマとした展覧会を開催します。



千人塚古墳整備工事体験
ワークショップ

³⁶ Augmented Reality (拡張現実)。現実世界の映像や風景に、文字・画像・3Dモデルなどのデジタル情報を重ね合わせて表示する技術を指す。スマートフォン、タブレット、ARグラスなどを通して利用される技術である。

各施策の重点事業（☆新規事業）
<p>【施策①】芸術文化の振興</p> <p>☆市民部文化スポーツ課の協力のもと、部活動地域連携・地域展開に向けた文化芸術活動の実証的モデル事業を実施する。 （その他の事業については、市民部文化スポーツ課が執行する。）</p>
<p>【施策②】文化財の保存と活用</p> <p>☆国指定史跡「浅間古墳」の発掘調査を実施する（令和8年度から12年度までの5か年計画）。 ☆国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院」の移築復原に向けた解体調査・解体工事を実施する。 ☆市指定史跡「千人塚古墳」の維持管理・活用を地域と協力して行う。 ☆「しずおか遺産」に認定されたストーリー「駿河湾のめぐみと行き交う船」を構成する歴史・文化財の啓発事業を実施する。 ☆ARを活用した文化財の紹介事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頼朝や曾我兄弟の歴史・伝承にちなんだ史跡活用イベント（ワークショップ、講演会）の実施、オリジナルキャラクターの利活用を推進する。 ・旧富士製紙レンガ建物記録保存調査を実施する。 ・富士市文化財保存活用地域計画の周知・啓発を行う。 ・無形民俗文化財継承支援として、大北のカワカンジー³⁷の制作作業、調査・記録等を行う。 ・天然記念物等の維持管理用の基礎データをまとめるための樹勢調査を行う。 ・重要文化財「古谿荘」修復に係る助成等を行う。 ・市民歴史講座等、歴史・文化に関する普及啓発を行う。
<p>【指標に関する取組】</p> <p style="text-align: center;"><u>文化財に関する講座、イベント等による文化財の保存・活用の促進</u></p> <p>【指標】文化財普及活動に参加した人数</p> <p>【R7実績/ R8目標】12,011人/ 12,100人³⁸</p>

³⁷ 毎年8月15日に行われる盆の川供養行事で、松野地区の大北町区大北の集落に伝承されている。麦わらで直径2m程の輪を作り、そこに松明を立てて、火をつけて富士川に流して水難者の鎮魂を祈る。大北ではこの製作物および行事名を「カワカンジー」（川勧請）と呼ぶ。同様の行事は富士川流域各地で見られたが、現在は大北が数少ない貴重な伝承地となっている。

³⁸ 本年度からは、すべての文化財普及活動について参加者数を記載している。これに対し、昨年度までは市民歴史講座、千人塚古墳公開記念イベント、頼朝と曾我兄弟史跡活用イベント（デジタルスタンプラリー、出張展示でのギャラリートーク）など、主要なイベントのみを集計していた。なお、昨年度と同じ基準で算定すると参加者数は897人である。

【施策③】 学びの場である博物館の充実

- ☆市制 60 周年&リニューアル 10 周年記念展「富士山へ帰るかぐや姫」を開催する。
- ☆市指定文化財樋代官植松家住宅長屋門の茅葺き屋根全面修繕を実施する。
- ☆県指定文化財旧稲垣家住宅の戸袋他の修繕及び防蟻・防腐処理を実施する。
- ・文化財建造物等の保守管理を行う。
- ・各種体験講座及び出前講座を開催する。
- ・ウェブサイトの充実・博物館収蔵品データベースの整備を行う。

【指標に関する取組】

小中学校や高齢者団体による博物館資料を活用した学習支援事業の利用促進

【指標】博物館資料を活用した学習支援の件数

【R7 実績/ R8 目標】 63 件/ 70 件

その他の事業

- ・博物館収蔵資料の調査整理作業（六所家旧蔵資料、山崎家文書ほか）
- ・富士山及び富士山南麓かぐや姫伝説に係る資料の調査収集



オンライン授業の様子(松野学園)



オンライン授業の様子(展示室1)